

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 26年 10月 15日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3470102769		
法人名	有限会社美泉		
事業所名	グループホームよってきんさい矢野		
所在地	〒736-0085 広島市安芸区矢野西5丁目18-30 (電話) 082-889-6400		
自己評価作成日	平成26年9月20日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokensaku.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_2014_022_kani=true&JigyosyoCd=3470102769-00&PrefCd=34&VersionCd=022
-------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	一般社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	平成26年10月10日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

<p>定員6名のホームです。公園や神社が近くよく散歩に出掛けています。畑があり、外での作業を楽しんでいます。医療や看護と連絡を密にし、看取りまでさせて頂いています。幸福に過ごして頂ける終の住処で有りたいと職員一同努力しています。</p>

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

<p>当事業所は、由緒ある神社や旧家が点在する住宅街に位置し、定員6名の民家改造型事業所で閑静な街並みにとけ込んでいる。 職員は、外出（日々の近隣の散歩やガーデニングと年1回の1～2泊旅行）により新鮮な空気を味わい、色々な人や物との出会いを大切にしながら「口から食べて、自分の足で歩き、穏やかで幸福な毎日を過ごす」事を主眼にし、少人数の特性を活かして家族的な雰囲気の中で、利用者お一人おひとりにきめ細かな支援をおこなっている。</p>

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	美泉設立時よりの運営理念があり、掲示し毎朝唱和している。この理念を元に新年互礼会で各事業所の目標を立て日々取り組んでいる。	法人の理念と事業所の年度目標を掲示して、毎朝の唱和により、その徹底を図っている。年度目標は、毎年の新年互例会の場で事業所ごとに1年間の振り返りと新たな当年度の目標を全職員の前で公表して、理念が実践に繋がる様に取り組まれている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	町内会に加入し役員を担当したり、町内の清掃に参加している。回覧板を入居者と届けに行ったり、散歩や買い物で挨拶を交わしている。	管理者が、町内会の組長を1年間務めた関係上町内の主だった方々とは顔見知りとなり、公園や溝掃除等の町内行事には必ず参加している。利用者も町内の方々と挨拶や立ち話を交わす等日常的に交流して地域に溶け込まれている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	町内会や推進会議で質問を受け、お答えしている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	2ヶ月に1回定期に行っている。町内会長・民生委員さんに出席して頂き、事業所の活動や利用実績など報告している。会議での意見は職員ミーティングや管理者会議で報告し、日々のケアに活かしている。	運営推進会議は、定例的に開催され町内会長、民生委員、利用者、家族の参加が見られ事業所の状況報告や町内行事等の情報交換等が行われている。	運営推進会議メンバーが限られていて人数的にも少ないので、市職員・地域包括支援センター職員・知見者等の幅広い層からの参加者拡大に努め、会議内容の一層の充実を期待したい。
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	生活保護受給者の為に生活課と連絡をとっている。市主催の研修会に出席している。	市担当者との連携は、主に法人の代表及び事務長が行われている。管理者も様々な機会を利用して市の担当者との連携・協力関係づくりに取り組まれている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>玄関や職員通用門は夜間以外は開放している。出入りは自由にしている。徘徊される方には付き添い、見守りを行っている。市の研修会にも出席し、身体拘束のないケアを行っている。</p>	<p>「身体拘束ゼロへの手引き」に基づき勉強会、研修会を実施して、身体拘束禁止の対象となる具体的な行為の周知徹底を図ると共に、日々のケアで何気ない職員の言動が利用者の抑圧感を招いていないか検討するよう取り組まれている。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>全職員が社内研修を受け学んでいる。職員同士お互い注意を払い、声を掛け合い防止に努めている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>社内研修や会議、ミーティング等で学んでいる。必要時は上司に報告し支援へとつなげている。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約時には重要事項説明書・契約書により十分な説明を行い、理解・納得の上で署名・押印を頂いている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>玄関に意見箱を設置し、面会時にも意見や要望をお聞きしている。それを管理者会議等で検討し、改善に努めている。</p>	<p>利用者の意見・要望は毎日の職員との会話の中から聞き取っている。家族の意見は面会時や法人が開催する全事業所合同での行事（旅行、クリスマス会、寿を祝う会等）を捉え意見聴取を行い、集められた意見は事業所ごとに記録に残して全職員が把握して運営に反映させている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>申し送りやミーティング・互礼会等の集まりで意見や提案を聞いている。管理者会議で検討し、業務に反映させている。</p>	<p>年1回実施される自己申告は主に処遇や職場環境に関するもので、管理者を通じ法人代表に繋がられている。又、日々のケアに関する事や人間関係等はその都度ミーティングで話し合い職員各位の合意・納得を得ている。勤務年数の長いリーダー的職員の管理者への助言や全体への配慮が良好な職場環境づくりに貢献している。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>年1回申告書があり、職員は希望や意見を伝えている。それをふまえての面接でより細かく把握し、より良い環境となるよう努めている。研修や勉強会の為の勤務調整を行っている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>社内外の研修会の機会があり、資格取得の為の援助をしている。日々の勤務の中でも気づきがあればその時に伝え、職員の技術・知識向上に努めている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。</p>	<p>地域包括センター主催の研修に参加し、同業者との交流を図り、良い所は取り入れている。</p>		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p>	<p>入居前訪問を行い、本人や家族からお話を伺い、不安がないように説明し見学にも来て頂いている。希望があればお試しで泊まって頂き不安の軽減に努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	<p>入居前の面接で家族の困っていること・要望を聞き、入居後も面会時などにホームでの様子をお伝えし、不安の解消や要望に対し対応している。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>本人・家族から話を聞き、その時に一番必要であるサービスを提供できるよう努めている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	<p>本人の持っている能力を生かし、入居者と一緒に作業を行い一日の生活を共に過ごしている。作業後は感謝の気持ちを伝えている。</p>		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>家族の訪問時にはホームでの様子を伝え、時には家族に相談しながら共に支えていく関係を築いている。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>入居前から行きつけの美容院や病院があり、入居後もそこに行きたい希望があれば家族の力も借りながら付き添い出掛けしている。</p>	<p>センター方式によるアセスメント表に利用者の詳細な情報が記入されているので、馴染みの人や場所は職員がしっかりと把握していて、利用者の希望に沿った手厚い関係継続の支援が行われている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	利用者同士の関係を築けるように職員が仲介役として話しや共に作業をしている。食事の時も和やかな雰囲気作りに努めている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	サービス終了し退去された後も希望があればご家族の相談にのり支援に努めている。死亡退去の時、法要や納骨もお手伝いしている。家族がいらっしやらない時は葬儀後もお骨を預かり納骨している。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	センター方式を利用し情報収集を行っている。会話の中で意向や希望などの把握に努め、日々の生活に反映させている。本人から話が聞けない場合は、本人の立場に立ち表情や仕草から思いをくみ取りケアに活かしている。	現在、利用者が3名と少人数なので個別ケアの徹底とゆっくりと時間をかけた会話が可能で、お一人おひとりの表情や動作を注意深く観察して言葉に出てこない深層心理をも推察ながら新たな気づきを記録に残し職員間で共有されている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	本人・家族・入居前の関係者より情報収集を行い記録している。入居後も面会に来られる方との会話の中などからも情報を得ている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	一人ひとりに適した一日の過ごし方をアセスメントし考え、日々の生活を共にいき記録を積み重ねることで現状の把握に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>センター方式を用いアセスメントしている。本人・家族と話し合いプランを立てている。1ヶ月ごとのモニタリングを行い4ヶ月ごとにプランを作成している。</p>	<p>介護支援専門員がアセスメント表を踏まえ仮の介護計画を作成し、その介護計画について利用者・家族・職員で話し合った上でプランが完成されている。毎月モニタリングを行い計画の確認と修正の必要性を検討して、常に介護計画が最適な物となる様に取り組みされている。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>日々の生活日誌の記録、職員の申し送りノートなどで情報を共有し実践し、介護計画の見直しをしている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>他事業所と協力し、本人の意思を尊重しながら本人・家族のその時の状況にできるだけ合わせ支援できるよう取り組んでいる。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>地域の商店へ買い物に出掛けたり、回覧板を職員と一緒に送ったりしている。町内会の清掃や祭りにも参加している。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>入居前のかかりつけ医を希望される時は引き続きお願いしている。ない場合は本人・家族に納得して頂いた上で受けて頂いている。</p>	<p>入居時に、利用者・家族のかかりつけ医に関する希望を伺い、従来のかかりつけ医を利用するか、事業所の協力医を利用するかを決めている。協力医は月1回全利用者を診察するとともに、個別に月1回の個人健診に来られて適切な医療が施されている。受診の同行は職員が対応されている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。</p>	<p>日々の気付きや体調変化が見られた場合、看護職員に報告・相談し、必要時には主治医に連絡し適切な処置が受けられるよう支援している。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院時にはホームの生活状況の要約を作成し提供している。毎日面会に行き、洗濯物を届け病院関係者より経過を促かっている。早期に退院できるよう情報交換をこまめに行っている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。</p>	<p>入居時に重度化した時や看取り時の方針を家族に説明し同意を得ている。また、状況の変化と共に本人・家族・ホームドクター・職員と話し合い、意向の確認を行っている。</p>	<p>利用者・家族に対して、入居時に法人の方針を伝えて意思の確認を行っている。過去には数件の看取りも経験し、医療関係者と緊密に連携を図りながら、時期に応じて関係者の意思統一を図り望まれる対応を行っている。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。</p>	<p>マニュアルを作成しており、それにそって応急手当が出来るよう研修・実践をしている。</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。</p>	<p>年2回避難訓練を行っている。夜間はマニュアルをテーブルの上に置き1回は目を通し確認している。運営推進会議にて協力が得られるようお願いしている。</p>	<p>スプリンクラー、消防署への通報装置、煙探知機等を備え、定期的に避難訓練も行われている。法人内の連絡・役割等を定めたマニュアルと協力体制は構築されているので、近隣の避難場所の確保と協力体制作りが現在取り組まれている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	入居者への言葉掛けや対応など、個々の人格を尊重した言葉遣いや態度に気を付け対応している。	法人の基本方針として、「利用者の意思や能力、人生、人格を尊重したサービスの提供」を謳っていて、特に言葉使いについては細心の注意を払うよう徹底されている。プライバシー確保についても常々職員間で現状の確認と改善に向けた話し合いがもたれている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	本人の意思決定を大切にし、着たい服や食べたい物、飲みたい物、どうしたいかなど自己決定できる場面を作り一緒に考え決めている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	一日の時間の流れは決まっているが、その中でも本人のペースでしたい事などの希望を取り入れ支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	馴染みの理・美容院にお連れしている。外出時にはお化粧品をしておしゃれを楽しんで頂いている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	献立にて好みを取り入れ、盛り付けなどの準備・片付けを一緒に行っている。誕生日や季節の行事に合わせた行事食を楽しんで頂いている。	利用者の好みを尊重してメニューを考え、毎日買い物に出かけ事業所で調理されている。食材には特に季節野菜、新鮮な物に拘り、調理時の臭いや音から思わず食欲が湧き、今日は何だろうと期待される状況が見えた。又、外食や行事食等で変化も取り入れられている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス，水分量が一日を通じて確保できるよう，一人ひとりの状態や力，習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>食事・水分量は生活日誌に記録し，一人ひとりの状態に合わせた量や形態で提供している。パン食であっても米飯を好まれる場合は米飯に変更している。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように，毎食後，一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>毎食後，口腔ケアを行い，自力困難な方には職員が介助している。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし，一人ひとりの力や排泄のパターン，習慣を活かして，トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>毎日の習慣にそったトイレ誘導を行っている。排泄状況を生活日誌に記録し，パターンの把握に役立て，誘導を行っている。</p>	<p>トイレでの排泄を基本とし，生活日誌に記載されている排泄パターンや利用者の表情・動作から適切な誘導がなされている。夜間使用される「おむつやパッド」についても使用根拠を明確にして，常に改善の方策を検討して，排泄の自立に繋がるよう取り組まれている。</p>	
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し，飲食物の工夫や運動への働きかけ等，個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>排便チェック表や生活日誌に記録し，常に排便状態を把握するよう努めている。腹部マッサージ，牛乳を飲用したり散歩や運動を心掛け便秘予防に取り組んでいる。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように，職員の都合で曜日や時間帯を決めず，個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>日曜日以外毎日入浴できる。季節に応じて柚子湯やしょうぶ湯など楽しんで頂いている。</p>	<p>毎日，14時～17時の間が入浴の基本となっている。現在利用者が3名なので利用者の希望に沿って，ゆっくりと寛ぎ，職員と対話をしたり，入浴剤を使用したりして入浴が楽しみの一つとなっている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。</p>	<p>一人一人に応じ昼寝の時間を取り休息して頂いている。昼間はしっかり活動し、夜間の安眠へとつなげている。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。</p>	<p>薬手帳や処方時の説明書きを職員全員が把握し、服薬の支援と病状の変化に気を付け、必要時にはホームドクターに報告している。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。</p>	<p>一人ひとりの力を活かし、洗濯たたみ・野菜の下ごしらえ等して頂き役割を分担している。旅行や行事などに参加し楽しんで頂いている。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>天気の良い日には散歩に出掛けている。墓参りや外食など家族との外出も支援している。お花見や年1回の旅行を計画し実行している。</p>	<p>近隣の散歩、買い物、隣の菜園での花や野菜づくり等頻繁に外出支援が行われている。又、年間を通じては、1～2泊の家族も参加される旅行や法人主催の行事、花見等も実施され、活動的な日々が送られるよう外出支援に力点を置かれている状況が見られる。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。</p>	<p>家族より預かり金として出納帳を作り、外出時には自分で支払えるよう支援している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>電話を本人が希望された時や家族からかかってきた時、子機を利用しいつでも使用できる。</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>季節に合ったお花や壁画を飾り空間作りをしている。居心地良く過ごせるよう、テレビをつけっぱなしにしないよう、又空調にも気を付けている。</p>	<p>日当たりのよい部屋に、さり気なく飾られた生花とカレンダー、壁飾り等スッキリとした居間は少人数の利用者にとってはこじんまりと家庭的な雰囲気に包まれている。風呂場、トイレは一般の家庭と同じスペースで入り口に段差があるが、それが却って我が家の様で落ち着け、機能訓練の場ともなっている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>居室における独りの時間も大切にし、またリビングではくつろいだり休めるようなソファが2ヶ所ある。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>居室には本人の使い慣れた物、好みの家具、自分で作った作品などを飾り居心地良く過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>2階には6畳～8畳の洋間が5部屋、1階に1部屋と其々押し入れや襖もあり一般家庭と同じ間取りが親近感を覚える。各部屋にはベッド、空調が備え付けとなっていて、利用者が使い慣れた物、大切な物を自由に持ち込んで思い思いの生活が過ごせるようになっている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>トイレ・浴室等分かりやすいよう表記し、手摺りや入浴バーを設置している。</p>		

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係やとのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が ②職員の3分の2くらいが ③職員の3分の1くらいが ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が ②家族等の3分の2くらいが ③家族等の3分の1くらいが ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 グループホームよってきんさい矢野

作成日 平成26年11月10日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	夜間の緊急避難をスムーズに行う	1 利用者の安全を守る	①夜間を想定した避難訓練を実施 ②実際に夜間職員に緊急招集をかける	1年
2			2 町内会と災害協定の締結	①運営推進会議を通して災害時の協力を得るをお願いをする ②消防署の方に訓練や会議に参加して頂き協力を得る	1年
3	4	運営推進会議の出席者が限られており、参加人数が少ない	家族や行政関係者に幅広く参加して頂き、実りある会議にする	開催日を固定せず、家族や行政関係者が幅広く参加できるようにする	1年
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。